

【本資料は、2022 年10月 26 日付で発表された Standard Chartered PLC 3Q'22 Results(一部抜粋)の日本語参考訳です。】

スタンダードチャータードPLC-2022年度第3四半期の業績

別段の注記がない限り、すべての数字は特別要因調整後ベースで表示されており、比較の対象は 2021 年度で報告通貨ベースとしています。特別要因調整後の業績に含まれていない再編関連コストおよびその他の項目の内容は、原文「Standard Chartered PLC 3Q'22 Results」の 27~30 ページに記載しています。

ビル・ウィンターズ グループ最高経営責任者

「当行グループの第3 四半期の業績は非常に好調で、正常化後のベースで 22%の増収、税引前利益で 35%の増益を達成しました。2 月に策定された 5 つの戦略的アクションが順調に進捗を続けているほか、第 2 四半期の決算で発表した 5 億ドルの株式買戻しが完了し、年初来の株主の皆様への分配合計額は 14 億ドルに達しています。当行グループは引き続き、2024 年度の財務目標を達成できると確信しています。」

戦略的アクションの進捗状況

- 法人営業・コマーシャルバンキング部門(CCIB):リターンを向上させる:年初来の収益のリスク加重資産利益率は21年度と比べ140bps上昇し、6.3%となりました。年初からのリスク加重資産(RWA)最適化の取組みは105億ドルに達しています。
- コンシューマー/プライベートビジネスバンキング部門(CPBB):収益性を転換する:費用収益比率は21年度から4ポイント減少して69%となりました。年初来の総費用削減額は1億7,300万ドルに達しており、2022年度中に2億ドルという目標は達成されつつあります。
- 中国における機会の獲得:中国オンショア事業は、為替変動の影響を除いたベースで、年初来で前年同期比11%の増益を実現し、オフショアの収益は同16%の増益となりました。
- オペレーションのレバレッジを生み出すコスト規律:年初から構造的費用を総額3億3,000万ドル削減しました。
- 株主への潤沢な配当:年初来で総額14億ドルの株主への分配を発表しました。

その他のハイライト

- ベンチャー:シンガポールでFairPrice Groupと提携してデジタルバンク「Trust」を設立し、すでに約20万口座が開設されました。
- サステナビリティ:サステナブル・ファイナンスは前年同期比33%増益、商品開発のイノベーションが進み、パリエーションは30種類を超えました。

22 年度第 3 四半期の業績の概要

- 有形資本利益率(RoTE)は前年同期から380bps上昇して10.1%に達しました。
- 正常化後ベース(債務評価調整(DVA)の影響および2021年に行ったIFRS9に基づく金利収入の調整を除く)で、収益は43億ドルと前年同期比15%の増収、為替変動の影響を除いたベースでは同22%の増収を実現しました。
 - 純金利収入は、正常化後かつ為替変動の影響を除いたベースで24%の増収となりました。
 - ファイナンシャルマーケットは、正常化後かつ為替変動の影響を除いたベースで前年同期比21%の増収を記録しました。
 - ウェルスマネジメントは、為替変動の影響を除いたベースで、最大の市場である香港で15%の減収、全体でも15%の減収となりました。
 - 純資金利ざや(NIM)は、金利上昇の影響が商品構成の変更とヘッジにより一部相殺され、前四半期比8bps上昇して1.43%となりました。
- 費用は27億ドルへ前年同期比3%増加、為替変動の影響を除いたベースでは9%の増加となりました。
 - 投資支出、給与の増加、業績連動型報酬発生額が増加しました。
 - 為替変動と債務評価調整(DVA)の影響を除いたベースでは、収益の伸び率が費用の増加率を10%上回りました。費用収益比率は62%へ低下しました(21年第3四半期は69%)。
- 信用減損は2億7,700万ドルと、前年同期比1億2,000万ドル増加、前四半期比では1億6,000万ドルの増加となりました。
 - うち1億3,000万ドルは中国商業用不動産セクターに対するエクスポージャー、9,600万ドルはパキスタンとガーナに関係するソブリンのダウングレードによるものです。
 - マネジメント判断による調整(オーバーレイ)額は現在、総額で2億400万ドルとなっています。新型コロナウイルスに関連するオーバーレイは5,100万ドルと、3,900万ドル減少し、中国の商業用不動産関係のオーバーレイは1億5,300万ドルと、2,700万ドル増加しました。
 - ハイリスク資産は、アーリーアラート口座の減少を主な理由として前四半期比20億ドル減少しました。
 - 年初来の信用損失率は、年率換算で18bpsとなっています。
- 特別要因調整後の税引前利益は、為替変動の影響を除いたベースで35%増益の14億ドル、法定ベースの税引前利益も同43%増益の14億ドルとなりました。
- 当行グループのバランスシートは依然として健全で流動性が高く、十分に分散されています。
 - 顧客向け貸付金その他の金銭債権は2022年6月30日から50億ドル(2%)増加、特別要因調整後ベースでは1%の増加となりました。
 - 預貸率は58.1%(2022年6月30日時点では59.6%)、流動性力バレッジ・レシオは156%(同142%)です。
- リスク加重資産(RWA)は2,520億ドルと、2022年6月30日から30億ドル減少しました。
 - 信用リスク加重資産は30億ドル減少、市場リスク加重資産はおおむね横ばい、オペレーショナルリスク加重資産は増減ゼロとなっています。
- グループは依然として盤石な自己資本を有しています。
 - 普通株式等Tier 1比率(CET1比率)は13.7%と、目標レンジである13-14%の上半分にとどまっています(22年6月30日時点では13.9%)。
- 1株当たり利益は10セント(43%)増加して33.1セントになりました。

見通し

欧米諸国の一部で景気後退のプレッシャーが強まっていますが、当行グループの業績は好調に推移しており、ビジネスを展開する多くの市場の経済は順調なペースで回復しています。このため、当行グループの 2022 年度通年の業績に対する最新の見通しは以下ようになります。

- 為替変動と債務評価調整(DVA)の影響を除いたベースの増収率は約13%と、年初から現在までの増収率とほぼ同水準と予想されます。
- 通年の平均純資金利ざやは140bps程度になると見込まれます。
- 英国銀行税を除く費用は約106億ドルと予想されます。
- 信用減損は年初から現在までの信用損失率18bps(年率換算)をやや上回るとみられます。
- 当行グループはCET1比率を13-14%の目標レンジ内に維持しながら、ダイナミックにビジネスを展開する所存です。

当行グループは、2023 年には平均約 165bps まで、純資金利ざや(NIM)をいっそう大幅に拡大できると予想しています。これに加え、力強いビジネスモメンタムが継続し、収益の伸び率が依然として費用の増加率を上回っていることから、遅くとも 2024 年には、目標としている有形資本利益率(RoTE) 10%を達成できる軌道に乗っていると考えます。

他の通貨を指すと明記されている場合を除き、本資料内の「ドル」という語または「\$」の記号は米国ドルを指し、「セント」という語または「c」の記号は 1 ドルの 1/100 を意味します。

本資料に記載する情報は監査を受けていません。

文脈上別段の解釈が必要な場合を除き、本資料において「中国」は中華人民共和国を指し、本資料においてのみ、香港特別行政区(香港)、マカオ特別行政区(マカオ)および台湾は含まれません。「韓国」は大韓民国を指し、「アジア」にはオーストラリア、バングラデシュ、ブルネイ、カンボジア、中国、香港、インド、インドネシア、日本、韓国、ラオス、マカオ、マレーシア、ミャンマー、ネパール、フィリピン、シンガポール、スリランカ、台湾、タイ、ベトナムが含まれ、「アフリカ中東(AME)」には、アンゴラ、バーレーン、ボツワナ、カメルーン、コートジボワール、エジプト、ガンビア、ガーナ、イラク、ヨルダン、ケニア、レバノン、モーリシャス、ナイジェリア、オマーン、パキスタン、カタール、サウジアラビア、シエラレオネ、南アフリカ、タンザニア、アラブ首長国連邦(UAE)、ウガンダ、ザンビア、ジンバブエが含まれます。また「ヨーロッパ 米州(EA)」には、アルゼンチン、ブラジル、コロンビア、フオー克蘭諸島、フランス、ドイツ、アイルランド、ジャージー、ポーランド、スウェーデン、トルコ、英国、米国が含まれます。

スタンダードチャータード PLC はイングランドおよびウェールズにおいて設立された有限責任会社であり、ロンドンに本社を置きます。当行グループの当社では、ガバナンスおよび規制基準に関する助言を提供しています。スタンダードチャータード PLC の株式の銘柄コードは LSE STAN.LN および HKSE 02888 です。

【参考記に関するご留意事項】

この資料は、スタンダードチャータード銀行東京支店(以下、「当行」と言います。)が、お客様の便宜のために、英語その他の言語の情報を日本語に翻訳し、提供させていただいております。従いまして、当行は、この資料に記載された情報につきまして、独自の検証を行っておりません。専門用語のみならず、翻訳の正確性も保証しておりません。英文資料が正文であり、英文資料と翻訳との間で齟齬がある場合には、英文資料が全てにおいて優先します。

損益計算書

	22年 第3四半期 (百万ドル)	21年 第3四半期 (百万ドル)	増減 ¹ %
特別要因調整後ベースの業績			
営業収益	4,318	3,765	15
営業費用(英国銀行税を含む)	(2,659)	(2,594)	(3)
信用減損	(227)	(107)	(112)
その他減損費用	(32)	(35)	9
関連会社利益	16	46	(65)
税引前利益	1,416	1,075	32
普通株主に帰すべき利益/(損失) ²	976	716	36
普通株主有形資本利益率 (RoTE) (%)	10.1	6.3	380bps
費用収益比率(銀行税を除く) (%)	61.6	68.9	730bps
法定ベースの業績			
営業収益	4,329	3,764	15
営業費用	(2,696)	(2,647)	(2)
信用減損	(227)	(108)	(110)
その他減損費用	(31)	(59)	47
関連会社利益	16	46	(65)
税引前利益	1,391	996	40
税金	(313)	(229)	(37)
当期利益	1,078	767	41
親会社株主に帰すべき利益/(損失)	1,087	763	42
普通株主に帰すべき利益/(損失) ²	964	644	50
普通株主有形資本利益率 (%)	10.5	6.4	410bps
費用収益比率(銀行税を除く) (%)	62.3	70.3	800bps

	22年 第3四半期 (百万ドル)	21年 第3四半期 (百万ドル)	増減 ¹ %
バランスシートと資本			
総資産	864,435	817,102	6
総資本	50,003	53,335	(6)
普通株主に帰すべき平均有形株主資本 ²	36,569	39,948	(8)
顧客向け貸付金その他の金銭債権	298,390	302,493	(1)
顧客口座	447,259	453,260	(1)
リスク加重資産	252,293	267,555	(6)
総自己資本	53,491	58,871	(9)
総自己資本比率 (%)	21.2	22	(80)bps
普通株式等 Tier 1	34,504	39,167	(12)
普通株式等 Tier 1 比率 (%)	13.7	14.6	(90)bps
純資金利ざや(%) (調整後)	1.43	1.23	20bps
預貸率 (%) ³	58.1	61.9	(3.8)
流動性カバレッジ率 (%)	156	145	11
レバレッジ率 (%)	4.8	5.1	(30)bps
普通株式1株当たりの情報	セント	セント	増減 ¹
1株当たり利益－特別要因調整後ベース ⁴	33.1	23.1	10
－法定ベース ⁴	32.7	20.7	12
1株当たり純資産額 ⁵	1,433	1,468	(35)
1株当たり純有形固定資産額 ⁵	1,243	1,294	(51)
期末時点の普通株式数(百万株)	2,905	3,078	(6)

- 1 資産、債務、リスク加重資産以外については、増減は改善(悪化)を示します。総自己資本比率(%）、普通株式等Tier 1比率(%）、純資金利ざや(%）、預貸率(%）、流動性カバレッジ率(%）、レバレッジ率(%）については、増減は増減率ではなく、二時点間のパーセンテージ・ポイントの差で示されています。1株当たり利益、1株当たり純資産額、1株当たり純有形固定資産額については、増減は増減率ではなく、二時点間のセントの差で示されています。
- 2 普通株主に帰すべき利益/(損失)は、非累積償還優先株、および株式に分類されるその他 Tier1(AT1)資本証券の保有者に対する支払配当を控除した後の数値です。
- 3 本比率の算出にあたっては、顧客向け貸付金その他の金銭債権の総額から、リバース・レポ契約等担保付貸出金、およびストレス時に返済可能と確認された、中央銀行に保有された承認済みの残高を除いており、一方で、損益を通じて公正価値(FVTPL)で保有される顧客向け貸付金その他の金銭債権を含んでいます。総顧客口座数はFVTPLで保有される顧客口座を含んでいます。
- 4 特別要因調整後ベースまたは法定ベースの利益を基本的加重平均株式数で割った数値です。
- 5 期末時点の純資産額、純有形固定資産額および株式数により算出した数値です。

補足財務情報

顧客セグメント別の特別要因調整後の業績

	22年度第3四半期				
	法人営業・ コマーシャルバンキング 部門	コンシューマー/ プライベート/ ビジネスバンキング 部門	ベンチャー 部門	その他	合計
	(百万ドル)	(百万ドル)	(百万ドル)	(百万ドル)	(百万ドル)
営業収益	2,745	1,600	10	(37)	4,318
外部収益	2,405	1,287	10	616	4,318
セグメント間収益	340	313	—	(653)	—
営業費用	(1,347)	(1,035)	(87)	(190)	(2,659)
クレジットコスト・税引前営業利益/(損失)	1,398	565	(77)	(227)	1,659
信用減損	(82)	(87)	(4)	(54)	(227)
その他減損費用	(31)	—	—	(1)	(32)
関連会社利益	—	—	(4)	20	16
特別要因調整後の税引前利益/(損失)	1,285	478	(85)	(262)	1,416
再編関連コスト	2	(22)	—	(5)	(25)
その他の項目	—	—	—	—	—
法定ベースの税引前利益/(損失)	1,287	456	(85)	(267)	1,391
総資産	453,985	129,698	1,574	279,178	864,435
うち顧客向け貸付金その他の金銭債権 ²	190,782	126,961	480	35,388	353,611
顧客向け貸付金その他の金銭債権	138,017	126,927	480	32,966	298,390
損益を通じて公正価値(FVTPL)で保有される貸付金	52,765	34	—	2,422	55,221
総債務	534,469	176,087	981	102,895	814,432
うち顧客口座 ²	332,833	171,730	886	6,517	511,966
リスク加重資産	149,779	50,923	1,158	50,433	252,293
特別要因調整後のRoTE(有形資本利益率)(%)	17.5	19.2	nm ³	(15.6)	10.1
費用収益比率(銀行税を除く)(%)	49.1	64.7	nm ³	nm ³	61.6

	21年度第3四半期				
	法人営業・ コマーシャルバンキング 部門	コンシューマー/ プライベート/ ビジネスバンキング 部門	ベンチャー 部門	その他	合計
	(百万ドル)	(百万ドル)	(百万ドル)	(百万ドル)	(百万ドル)
営業収益	2,226	1,431	—	108	3,765
外部収益	2,115	1,349	—	301	3,765
セグメント間収益	111	82	—	(193)	—
営業費用	(1,304)	(1,065)	(60)	(165)	(2,594)
クレジットコスト・税引前営業利益/(損失)	922	366	(60)	(57)	1,171
信用減損	(24)	(73)	(1)	(9)	(107)
その他減損費用	(30)	—	—	(5)	(35)
関連会社利益	—	—	(1)	47	46
特別要因調整後の税引前利益/(損失)	868	293	(62)	(24)	1,075
再編関連コスト	(32)	(10)	—	(57)	(99)
その他の項目	—	—	20	—	20
法定ベースの税引前利益/(損失)	836	283	(42)	(81)	996
総資産	390,770	138,109	774	287,449	817,102
うち顧客向け貸付金その他の金銭債権 ²	197,121	135,333	42	31,272	363,768
顧客向け貸付金その他の金銭債権	137,936	135,251	42	29,264	302,493
損益を通じて公正価値(FVTPL)で保有される貸付金	59,185	82	—	2,008	61,275
総債務	468,431	179,423	794	115,119	763,767
うち顧客口座 ²	320,516	175,278	721	16,477	512,992
リスク加重資産	161,915	52,583	608	52,449	267,555
特別要因調整後のRoTE(有形資本利益率)(%)	10.6	11.2	nm ³	(5.6)	6.3
費用収益比率(銀行税を除く)(%)	58.6	74.4	nm ³	152.8	68.9

- 1 ベンチャー部門の経営に対する戦略的重要性の増大およびその報告を受けて、同部門は2022年より独立したセグメントになりました。前の期間の数値は修正されています。
- 2 「顧客向け貸付金その他の金銭債権」には損益を通じて公正価値(FVTPL)で保有されるものを含み、「顧客口座」にはFVTPLで保有されるものおよびレポ契約を含んでいます。
- 3 僅少

補足財務情報

地域別の特別要因調整後の業績

	22年度第3四半期				
	アジア (百万ドル)	アフリカ・ 中東 (百万ドル)	ヨーロッパ・ 米州 (百万ドル)	その他 (百万ドル)	合計 (百万ドル)
営業収益	2,984	652	632	50	4,318
営業費用	(1,715)	(423)	(374)	(147)	(2,659)
クレジットコスト・税引前営業利益/(損失)	1,269	229	258	(97)	1,659
信用減損	(193)	(68)	34	－	(227)
その他減損費用	(33)	2	1	(2)	(32)
関連会社利益	20	－	－	(4)	16
特別要因調整後の税引前利益/(損失)	1,063	163	293	(103)	1,416
再編関連コスト	(18)	(1)	(2)	(4)	(25)
その他の項目	－	－	－	－	－
法定ベースの税引前利益/(損失)	1,045	162	291	(107)	1,391
総資産	497,193	54,724	303,617	8,901	864,435
うち顧客向け貸付金その他の金銭債権 ¹	258,911	24,705	69,995	－	353,611
顧客向け貸付金その他の金銭債権	242,700	23,644	32,046	－	298,390
損益を通じて公正価値(FVTPL)で保有される貸付金	16,211	1,061	37,949	－	55,221
総債務	452,959	41,116	249,771	70,586	814,432
うち顧客口座 ¹	334,954	31,697	145,315	－	511,966
リスク加重資産	156,553	42,746	50,779	2,215	252,293
特別要因調整後のリスク加重資産利益率(%) ²	2.7	1.5	2.3	nm ⁴	2.2
特別要因調整後の有形資本利益率(%) ²	14.2	7.8	12.1	nm ⁴	10.1
費用収益比率(%) ³	57.5	64.9	59.2	nm ⁴	61.6

	21年度第3四半期				
	アジア (百万ドル)	アフリカ・ 中東 (百万ドル)	ヨーロッパ・ 米州 (百万ドル)	その他 (百万ドル)	合計 (百万ドル)
営業収益	2,629	657	514	(35)	3,765
営業費用	(1,661)	(401)	(350)	(182)	(2,594)
クレジットコスト・税引前営業利益/(損失)	968	256	164	(217)	1,171
信用減損	(84)	(33)	11	(1)	(107)
その他減損費用	(2)	(1)	(14)	(18)	(35)
関連会社利益	45	－	－	1	46
特別要因調整後の税引前利益/(損失)	927	222	161	(235)	1,075
再編関連コスト	(36)	(7)	(27)	(29)	(99)
その他の項目	－	－	－	20	20
法定ベースの税引前利益/(損失)	891	215	134	(244)	996
総資産	475,407	56,609	275,427	9,659	817,102
うち顧客向け貸付金その他の金銭債権 ¹	263,296	28,415	72,057	－	363,768
顧客向け貸付金その他の金銭債権	246,226	25,914	30,353	－	302,493
損益を通じて公正価値(FVTPL)で保有される貸付金	17,070	2,501	41,704	－	61,275
総債務	428,911	40,276	228,363	66,217	763,767
うち顧客口座 ¹	343,425	33,307	136,260	－	512,992
リスク加重資産	172,205	49,040	48,476	(2,166)	267,555
特別要因調整後のリスク加重資産利益率(%) ²	2.1	1.7	1.3	nm ⁴	1.6
特別要因調整後の有形資本利益率(%) ²	11.1	9.1	6.7	nm ⁴	6.3
費用収益比率(%) ³	63.2	61.0	68.1	nm ⁴	68.9

1 「顧客向け貸付金その他の金銭債権」には、損益を通じて公正価値(FVTPL)で保有されるものを含み、「顧客口座」にはFVTPLで保有されるものおよびレボ契約を含んでいます。

2 増減は増減率ではなく、二時点間のベシス・ポイント(bps)の差で示されています。

3 増減は増減率ではなく、二時点間のパーセンテージ・ポイントの差で示されています。

4 僅少